新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～９月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

暑い夜に散歩をしているとき、川の近くに行ったら、とてもすずしかった。ふしぎだな。
（５年女子）

雨にうたれているトマトがゆらゆらゆれていた。雨の音の演奏に合わせて踊っているようだ。
（５年女子）

雨の日にドライブしたとき、窓についた水滴が風で飛ぶように流れた。まるで雨の競争のように。
（５年女子）

ビンに丸い物を入れると、角度によって丸い物の大きさが変わって見える。ふしぎだな。
（５年女子）

ブロックべいのすき間からざっ草が生えてきていた。すごい力だと思った。
（６年女子）

夜、窓を開けると虫たちのきれいな合唱と、星の輝きがマッチしていた。うっとりするいい時間を過ごせた。
（６年女子）

雨が落ちるピチャピチャという音が、この暑い夏を涼しく感じさせる。自然には、すごい力があるのだな。
（６年男子）

全国３ヵ所で４０度ごえになったニュースを見た。地球温暖化の影響だろうか。これからもどんどん暑くなるのかな。心配だ。
（６年女子）

美しものを美しいと感じる感覚、新しいものや未知なるものに触れたときの感覚、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などの様々な形の感情がひとたびよびさまされると次にその対象についてもっと知りたいと思うようになります。そのようにして見つけ出した知識はしっかりと身につきます。

レイチェル・カーソン「センスオブワンダー」より

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第４号　Ｒ２．９．２５